

保育士試験 「子どもの保健」 過去問分析 出題予想（傾向と対策）

はじめに 試験問題の解答には文章や文脈による“流れ”をつかむことが大切です。以下の文章に何度も同様の表現が出てきますがご理解ください。ケアレスミスは「分かった！！」と思った瞬間に問題を全部読むことを中止したり、読み返すことをしなかったりするために発生するケースが多いのです。とくに事例は日常の経験から解答できる問題がほとんどといっても過言ではありません。試験は受験して合格するだけでなく保育についての必要な知識が自然と理解できるので、勉強していても充実した気持ちになります。当然合格した時の達成感と言うまでもありません。

1. 解答形式 過去 100 問中

正しい・不適切一つ選択 51 ○×形式 33 事例形式 8 () 形式 8

○×は絞り込み 組合せは文章をよく読み文脈で 不適切問題はよく読んで確実に
※正しいものから、不適切などの直接 5 つの質問から一択するのは読む時間が少なく解答するのに時間がそれほどかからない。気を付けなければならないのは早く読めるというのは早合点することも多いことに留意しておくべきだ。解答した後に繰り返し読んでみて違和感がないかどうかを確かめておくべき。事例がでたら文章を読めばとくに勉強していても文脈で判断できるものが多いので、文章を正確に読み解こう。
マークシートに一度に解答を問題用紙の控えから書き写すときは要注意。順番がずれてたいへんなことになる場合があるということ。できれば番号を確認したら 2、3 問ごとに解答を書き写されることをお勧めする。

2. 6 割 12 問 (10 問出題は 6 問) 得点のための出題出所内訳 (キーワード)

傾向 子どもの発育と発達

保育士と保育所の役割

健康状態 心身の不調 健康診断 感染症 アレルギー

発達障害

3. 科目としての難易度

生活に密着した科目でテキストを読み込んでも実感があり、なるほどこれが最近新聞やテレビで報道されている病気やアレルギーなんだと教えられることが多い。身近な生活の中で役に立つことばかりなので、自分のことと思って体のあらゆるところに病名やアレルギーなどをイメージで張り付けてみてください。

ご注意：この出題予想で試験が合格できるわけではありません。受験する人のモチベーションアップに貢献することで、受験勉強をより楽しく、効率的にしたいという思いで作成して

います。

参考テキスト

「保育士 完全合格テキスト 上・下」翔泳社

参考サイト

参照法令